

1. 勉強法

ぜひ、授業で紹介した勉強法を実践してみましょう！早速、効果も出ているようです！

簡単に予習をしましたが、詰が頭に入ってくるのがわかりました。

1トモともことも普段なぎたので、今日とて

みて、この方がボーリして頭に入ると思いました。

前回の授業で学んだノートの書を方を行ってみたら、授業の流れが林

なりわかるようなノートが書けた。

いい指摘です！！！！

申し訳ないですが、講義は今朝でみました。今朝で見たの原因かもしれないですが、講義の流れや内容がよく思い出せます。でも同時に授業を受けるときのワクワク感がとてモソくなっています。

この授業では、考えながら感がとてモソくなっています。

聞いてもらいたいので、授業中に問い合わせをしますが、その答えは、予習用のメモに書いてあります。そこでワクワク感がなくなってしまう、という指摘です。その通りですね。でも、授業の目的は、ワクワク感ではなく、より身につくことです。だから、多少のワクワクは犠牲にしても、是非、10分間予習して欲しいです。

2. 生まれながらの物理学者

私たちは無意識に物理学者

この言葉は私の中で名前で見ています。

私もそう思っているんです！

自分たちの身近な物理法則が古く存在していたと改めて実感した。物の落ちるスピードやそのスケールは感覚的

そして、意外に、自分の中にその法則性は埋め込まれています！

に既に分かっていましたが、ウルトラヤーの時よりも実感

できました。

無意識のうちに物理法則を理解し、脳内でそれを再生していたといふ事実すら知らず自覚がない。人間は物を理解するうえで、結構無知で、無知なうえで結構物を理解する面白い生物なのだな、と感じた。

学者の学問の仕事の一部は、ミケランジェロが彫刻を掘り出すような作業と似ている部分があります。ミケランジェロは、自分の彫刻を「既に中に形があるものを取り出しているのだ」と表現しました。学者の頭の中にあるものを取り出す作業が研究であることもあります。

物理が苦手な自分も「人は生まれながらり物理学者」と言えると少し物理の見方が変わったな、とうなづかます。

これから、もっとそう思うようになるでしょう！

無意識の物理が何時も割合で手に取る感じで、何時も頭にいて、それが生まれて日より、物理法則

ただし、生まれたときからそんな風に物理法則を経験しているのか？というと、そうではないと思います。「物理法則を経験的に頭に構築する能力」を生まれながらに持っているのだと思います。

最後、無意識に物理法則を理解していると言われ。

「確かに」と思う反面、これも「固定概念に捕われている」のでは、これも重要な指摘です。実際、重いものが速く落ちるという経験的な法則は間違いでいた。だから、それをチェックできる能力も必要です！

3. リベラルアーツ

LA学群でない人も、ぜひ、自由になる技術(Liberal Arts)を身につけていきましょう！

自分がどれほど固定概念

を「ウルトラヤー」のスローモーションで認識している、或に「人は生まれながらり物理学者」である、これらは「固定概念から自由になる技術」、つまりリベラルアーツに見えていたなと感じさせ。少なくとも自分の能力を認識することで、自由になれる気になりますよね！

に囚われいかかってきました。

気づくことが第一歩です！

固定概念に「普段のものではなく、他のとく思つたのが疑問を持ち、自分自身の中を身に付けてから」と思つてみた。

本学の教員とお話しすると、「どんな学問でも、学ぶことで自分の常識が破壊されることがあるよね」という話に落ち着きます。沢山学んで、固定概念から自由になってください！また、色々なことを疑ってみてください！

空気抵抗の重さによって落ちる速度が変わることを

あげた。この方に私たちがどうぞうてはいる固定概念から自由にならざるを強く感じた。

普段の生活の中でも付ける行動から、人生をして面白くするのもいい。

4. ものの落ち方

色々な映像を見たが一番、目で撮影して、映像は衝撃で下りた。ハンマーと羽の実験、私は無重力でハンマーの方へ飛ぶ、落下すると思ったが空気の抵抗で下りて同時に落ちるのを知った。

私自身、物理は得意ではないのでアリストテレスの確かめる方法についての違和感は湧かなかった。しかし、ガリレオの方法(C)を知った時に「確かに、物体と繋げば分かる」と少し納得することができた。

私はスローモーションになっていたことを
言われて気がついた。ゆっくりたおれりいのように見えたことで「大きさ」
ものが「たおれりいように感じることか」でさりと知り、あもしろいと思。でも
「ぼくらの」というアノエーションがありました。ロボットの動きがとてもゆっくりで
効果音とも合わせて、まるで本当に鉄の塊が動いているように見えるのだ。
是非試して見みて下さい!

余談ではあるが、秒速5センチメートルを紹介してもらえて嬉しかった。

一方、「秒速5センチメートル」は、あえてウソをついています。サクラの花びらが落ちるスピードはもっと速いです。作者は、おそらく、それを知っています。知っていて、作者なりの意図をもって使正在とを考えるべきで、我々もその意図に気づくべき（あるいは、正しくだまされるべき）なのかもしれません。

私はスカイダイビングをしてことか
あるけど、落ちてりるというよりは空気に乗ってりるという感覚だったの。
空気抵抗を体で感じていたんだなと思った。

す！体を空気が支えている感じがするのは想像できますが、気づきませんでした。ありがとうございます！

頭の中の物理法則を書き換えることができればいいとおもいます！何度も映像を見てみましょう！せっかく高い金払って月まで行ってくれたことだし。

ガリレオの議論は巧みです。この授業では、ある程度、皆さんは無意識のうちに(C)をやっていることを自覚し、それを練習していきます。目指せガリレオ！

ウルトラセブンは、古典的な番組です。現代的な番組では、やはり、このような効果を意識して映像を作っています。多くは、「物理エンジン」と呼ばれるソフトウェアを組み込んで、現実的なスピードで動くように計算しています。「ぼくらの」を検索してみましたが、おそらく、これも使っていると思います。情報感謝！

私はやったことがありません。やったことのある人のコメントを直接的に聞いたのも初めてです！「空気に乗っている」は、とても素敵で、科学的にも興味深い表現です

皆さんは電子辞書を持っていますか？それを、かばんに入れて持ち運んでいますか？電子辞書は家に置いてあっても意味がありません。ぜひ、持ち歩きましょう。そして、電子辞書で、

「固定概念」と「固定観念」
を引いてみましょう！